

しどういん

発行 厚木市青少年指導員
連絡協議会
編集 広報部会
厚木市中町1-1-3
TEL 225-2580



うまく戻ってくるかな？

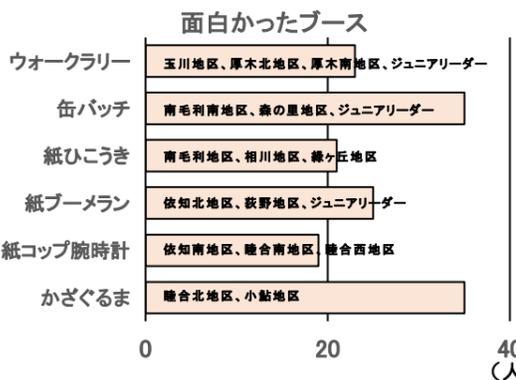
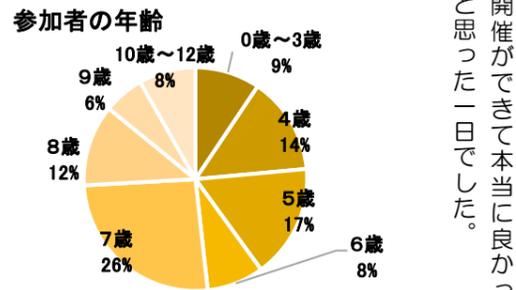
私が青少年指導員になって初めての大きな行事が、この少年少女フェスティバルでしたが、他の地区の青少年指導員の方と交流もでき、充実の一日となりました。

始。模様をどうしようかな？色はこれにしよう。楽しそうな声が聞こえてきます。
コロナ禍で青少年指導員は一緒に作れず遠くからの見守りで少し寂しい気もしましたが、子どもたちが満足そうに出来上がった作品を見せてくれたの



家族での時を楽しめました

参加者アンケート結果



少年少女フェスティバルを振り返って

開催日 令和4年5月15日(日)
場所 ほうさいの丘公園

■充実の一日■
依知北地区 山田栄子

私たちが担当したブースでは、参加してくれた子どもたちに工夫を凝らしたオリジナル紙ブーメランを作成してもらいました。作り方から投げ方までジュニアリーダーにコツを教わりながら、真剣ながらも楽しそうに取り組み姿が印象的でした。

■世界で一つの腕時計■
依知南地区 花和由香

3年ぶりの少年少女フェスティバルの開催、当地区のブースでは腕時計を作ってもらいました。スマホの時代にアナログな腕時計の製作は、子どもたちにピンときたでしょうか？材料を受け取り親子で着席。手順書を見ながら和気あいあいと製作開

■新任指導員を迎え全員の力が必要な時■
厚木市青少年指導員連絡協議会会長 川田房江

令和4年度を迎え、委嘱式・総会も無事に終えることができました。コロナ禍により過去2年間は書面開催となりましたが、今年度は対面開催ができ、新任の方22人をお迎えして106人で活動してまいります。

今後まだまだ心配されることもあり、コロナ感染予防対策を確実に、気を引き締めて活動を進めていきます。

青少年、ジュニアリーダーの健全育成に力を注いでいる青少年指導員は目標に向かって活動していくことが必要だと思っています。そのためには青少年指導員皆さんのお力が必要です。

また、日頃より青少年関係団体の方々、青少年課の皆さんには大変お世話になっております。今後ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



■子ども時代の夢叶う■
小鮎地区 貝塚景
私は中学2年生から地元である小鮎地区でジュニアリーダーとして活躍しています。



青少年指導員新任者研修
まずはアイスブレイクで緊張をほぐします



■理解と支援■
相川地区 飯田政義
文化部会の練習や地区のイベントなどに参加しながら、いろんな人のエネルギーをいただけて、今までの



野外指導者養成講習会
上：「いただきます」の儀式
左：みんなで鍋洗い



あゆむ回
厚木市マスコットキャラクター

「3年ぶりの」という言葉をよく耳にする。夏の高校野球も3年ぶりに観客を動員して開催し、大いに盛り上がった。仙台育英高校の須江監督の優勝インタビューで「青春って密」という言葉があった。「密」という言葉がコロナ禍でマイナスの表現で使用される中、むしろプラスの意味合いで話され、共感を覚えた。子どもたちにとって制約なく思い切り楽しめるような世の中を願いたい。

(厚木南)

編集後記

■初めての青少年指導員■
依知北地区 東海林裕
未だコロナ禍で本格的に活動することがままならないですが、今年度から徐々に子どもたちと活動する機会が増えました。

まだまだ活動に限りがあるにしても、少しでも子どもたちの礎になるように、未来への前進のお手伝いを青少年指導員の人として活動していけたらと思っています。

■これからのジュニアリーダーの姿を見据えて■
厚木市ジュニアリーダーズクラブ連絡協議会会長 高橋明日真

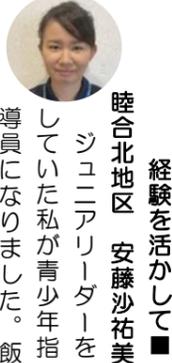
青少年指導員の皆様には日頃からお世話話になっております。依然としてコロナウイルスが猛威を振るっていますが、今年度は段々と活動の制限が緩和され、宿泊研修も再開することができました。油断のできない状況ではありますが、これまでの以上に活動の幅を広げていきたいと思っています。

コロナ禍以前の活動を継承するためにも、ゲームやなりわい節、ジュニアリーダーとしての心構え、活気を伝える場を増やす計画をしています。また、中学校区ごとのジュニアリーダー

行動制限が緩和され、40年間積み上げてきたものを引き継いでいくためにも、また、これからの新しいジュニアリーダーを作っていくためにも大きな転機になります！青少年指導員の方々の協力も必要になります。これからもジュニアリーダーをよろしく願っています。

新任青少年指導員の意気込み

■ジュニアリーダーの経験を活かして■
睦合北地区 安藤沙祐美



ジュニアリーダーをしていた私が青少年指導員になりました。飯ごう炊飯、キャンプファイヤーや鮎のつかみどり、楽しかった子どもの頃の記憶が蘇ってきます。母親となり、指導する立場となった今、あの頃サポートしてくださった青少年指導員の様に、楽しむところは大きいに楽しみ、注意をしなければならぬところはしっかりと注意のできる青少年指導員になれたらと思います。

区でジュニアリーダーとして活躍していました。

当時から将来青少年指導員になって、子どもたちが元気に楽しく過ごせる環境を提供したいと思っています。

念願叶った今、ジュニアリーダーの経験を活かしながら青少年指導員にしかできないことを模索し、活動していきたいと思っています。

■たのしみなバタック■
南毛利地区 小林徹也



初めてのことは初めてでもありまして、地区の方に支えられていると感じております。

配属になった体育部会では、バタックという競技をいろいろの方に知っていただく活動が10月に予定されております。私も楽しみます。

さまざまな活動が自粛となっており、皆さんと楽しく助け合って青少年指導員として多くのことを学んでいきたいと思っております。



■一歩ずつ■
依知南地区 糸井太一

青少年指導員の委嘱を受け、活動を始めてから早いもので5カ月が経ちました。イベントを成功させるために陰で支えている人たちがこんなに多いことに驚きました。

不慣れで分からないことだらけですが、一歩ずつ勉強していきます。子どもたちに少しでも多くの経験・体験をしてもらって、喜ぶ笑顔が見られるよう皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。

少年少女フェスティバルを振り返って

■屋外で作るかざぐるま■
陸合北地区 高井隆悟
今年度は「かざぐるま」を作ることになりました。
かざぐるま作りは魅力的ではありませんが、工作を得意としない私は、折り紙や竹ひこ・針金といった材料を前に尻込みをしていました。しかし、数百ものかざぐるまの準備をしているうちに慣れ、1分間で2本も作れるようになりました。

■希望の空に飛ぶ紙ひこうき■
相川地区 落合敏男
私たちの担当は紙ひこうき作り、子どもの年齢に合わせて手を貸したり、親子と一緒に楽しく作る手伝いをしました。翼の曲がりなどの微調整をして飛ばし方をアドバイスしてあげると、紙ひこうきは少しずつ飛ぶようになっていきます。
良く飛ぶようになり喜び笑顔は素敵です。この作業が、想像力・発想力を育むと思います。次回も楽しんでもらえようように改善していきます。



上手にできました



お父さん、早く飛ばそうよ

■伍バッチは笑顔の源■
南毛利南地区 久保勝寿
当地区の担当は伍バッチ、自分の写真やお気に入りのキャラクターの絵などを持ってくる子がほとんどで、3台の伍バッチマシンの前は開始直後から列ができていました。
出来上がった伍バッチを受け取る子どもたちの笑顔はやっぱりいいですね！来年もまた笑顔で会いたいものです。



力いっぱいガチャ

■初めての伍バッチ製作■
ジュニアリーダー 湯浅智晶
初めて伍バッチ製作を行ってみて、力加減や機械にバッチを上手にセットすることが難しく感じました。待っている人数が少ないときには、遊びに来てくれた子どもたちに製作を体験してもらいました。伍バッチを渡したときに子どもたちが笑顔になってくれて、やりがいがあり、とても嬉しかったです。

■初めての伍バッチ製作■
ジュニアリーダー 湯浅智晶
初めて伍バッチ製作を行ってみて、力加減や機械にバッチを上手にセットすることが難しく感じました。待っている人数が少ないときには、遊びに来てくれた子どもたちに製作を体験してもらいました。伍バッチを渡したときに子どもたちが笑顔になってくれて、やりがいがあり、とても嬉しかったです。

また、自分たちでオリジナルの伍バッチを楽しく作れました。久しぶりの開催で、機械が古くなっていて使えなくなってしまう時もありましたが、参加できて良かったです。
(写真左が私です)

■初めて実施したウォークラリー■
玉川地区 越智智子
子どもたちは受付でもらった地図を手がかりに、3つのポイントごとに出された問題に答えてゴールに向かいます。
「あつ、あつ。あそこ！」とポイントを見つけると早速答えを考え、わかると次のポイントに急ぎます。すべての答えを書いて広場に返ると、褒美のお菓子をもらって喜んでいました。



あつ！ あつた！！

もっと子どもたちとふれあう機会を作りたいです。

■花笠音頭披露■
文化部会 矢杉由美子
今までのペープサートでは密になるリスクが高いことから、文化部会は花笠音頭を披露することにしました。踊りの師匠(文化部会員)を中心に、お披露目まで2回の文化部会で猛練習を重ねました。
当日は朝から緊張の中、参加者が受付を終わり各ブースが開くまでの時間に猛練習の成果を披露しました。緊張感漂っていた部員の顔も踊り始めると見る見るうちにこやかになり、気持ちよく踊る姿が印象的でした。
コロナ禍でのマスクがとれ、安全にペープサートができるまでは、花笠音頭や手品・折り紙などを中心に活動していきます。



初めてのお披露目

野外指導者養成講習会に参加して

開催日 令和4年6月4日(土)
場所 七沢自然ふれあいセンター

■おいしいカレーができました■
南毛利南地区 山田肇
好きなキャンプに最近行くことができず、久しぶりの野外活動となりました。今回はジュニアリーダーの指導のもと、カレーを作りました。

ーの味は言うまでもなく美味、隣の班が食べているカレーを見るのと、こちらも美味しそうでした。コロナ禍で交流ができなかったのが心残りではありましたが、交流は来年の楽しみにとっておこうと思います。



燃えろ 燃えろ

■野外で食べるチキンカレー■
陸合北地区 小櫻正勝
屋外でカレーを作ってみるなんて食べる、こんな体験は小学生以来のことでした。軍手をしてナタで薪を割り、かまどに薪をくべる。子どもたちと一緒に作業をしていると、私も幼少の頃に帰った気分でした。鍋で米を炊き、チキンカレーができました。野外で食べるカレーができました。

■童心に帰って■
荻野地区 岡本朝道
私の中でここ何十年かは新しく人と出会う機会も減っていく中、ジュニアリーダーや他地区の青少年指導者の皆さんと一緒にカレーを作りました。



美味しいカレーができました！

■初心に帰って■
荻野地区 岡本朝道
私の中でここ何十年かは新しく人と出会う機会も減っていく中、ジュニアリーダーや他地区の青少年指導者の皆さんと一緒にカレーを作りました。

ジュニアリーダーが主体的に説明・進行をおこなう姿は大変堂々としていて、その姿に感心しつつカレーも美味しく出来上

■初対面の仲間と一致団結■
依知北地区 川野由美子
カレー作りでは初めでお会いする方とグループを組み、薪割り・火おこしから火加減の調整まで、全てジュニアリーダーに指導していただきました。出来上がりは一番遅かったのですが、その分一番美味しくできたと自負しています。久しぶりにおかわりをしました。

■やっばり大変！鍋洗い■
玉川地区 猿渡智恵子
私は8年前にも青少年指導員をしていました。野外講習会も2度目の参加で、とても懐かしい気持ちになりました。

■やっばり大変！鍋洗い■
玉川地区 猿渡智恵子
私は8年前にも青少年指導員をしていました。野外講習会も2度目の参加で、とても懐かしい気持ちになりました。

■十字のつながりを感じて■
厚木北地区 吉村博史
野外講習会に参加して、若いジュニアリーダーとの世代を超えた縦のつながりと、他地区の青少年指導員の方との横のつながりの温かさを感じました。その温かさは、若い世代を前に立て大人はそれを後ろから支えていく、世代を超えた信頼関係にあると思います。

■大人との交流は大切■
ジュニアリーダー 中央隆之介
野外指導者養成講習会に講師として参加し、いつもの小学生や中学生に教える時以上に野外炊事の楽しさを再確認することができました。

また普段関わることのない他地区の青少年指導員の方と交流する中で色々な話ができて、学ぶことがたくさんありました。カウンセラーとして研修会を担当する上で、大人の方との交流が大切だということを強く感じ、とても有意義な時間を過ごせたと思いました。